

本の旅が、人の旅をつなぐ——「旅する本棚」を新設

～読み終えた一冊を、次のゲストへと手渡すサステナブルな本の交換棚～

芝パークホテル（運営：株式会社芝パークホテル／東京都港区、代表取締役社長 柳瀬連太郎）は、2026年3月、館内2階ホワイエ Book & Culture に新たな取り組みとして「旅する本棚」を設置いたしました。本棚に並ぶのは、旅の途中で読み終えた小説や、役目を終えたガイドブックなど、世界中から訪れるゲストたちが置いていった本たち。不要になった本を捨てずに次の誰かへ渡すリサイクルの仕組みで、サステナブルな旅の楽しみ方を提案します。



世界中のゲストが置いていった本が並ぶ「旅する本棚」。

本棚は、ホテルをご利用のお客様であればどなたでも自由にご参加いただける“本の交換棚”です。気に入った本を棚に一冊置くと、棚にある本から一冊を持ち帰ることができます。また置いていく際には、ホテルが用意したしおり型のメッセージカードに次の読者への一言を書き添えていただき、本に挟んで棚へ。ゲストが読み終えた本には、前の持ち主の言葉がそと添えられ、物語とともにその人の思いも次の旅へと受け継がれていきます。

宿泊客の95%以上が海外からのゲストである芝パークホテルでは、本棚に並ぶ本もまた国境を越えて旅を続けます。ここに集まるのは、欧米豪を中心に世界中から持ち寄られた、多言語・多ジャンルの書籍たち。東京のひとつの本棚に世界の本が集まり、そしてまた世界のどこかへ旅立っていく——そんな循環が生まれます。



本に添える、次のゲストへのひとこと。



旅先で出会う一冊との時間。

私たちが「旅する本棚」をつくる理由は、訪れるゲストの記憶、これから訪れる未来のゲストの時間、そのどちらにもやさやかな豊かさを届けたいと願うからです。本との出会い、人との出会いが連なり、ふとした偶然が思いがけない発見へつながる。旅先の緩やかなセレンディピティが、この本棚を通して少しでも生まれればと考えています。

芝パークホテルは、銀座蔦屋書店のディレクションによる約 1,500 冊の蔵書を揃える「ライブラリーホテル」として、これからも本と文化に触れる時間をご提供してまいります。

■ 「旅する本棚」概要

- 名称： 旅する本棚 (The Traveling Bookshelf)
- 設置場所： 芝パークホテル 2F ホワイエ Book & Culture
- 利用対象： ホテルご利用のお客様限定
- 利用方法： 本を一冊置くと、棚から一冊お持ち帰りいただけます。
本には、次の持ち主へのメッセージをしおりに記入して挟む仕組みです。
- 特徴： 本を捨てずに次のゲストへ渡すサステナブルな取り組み。
国境を超える“旅する本”が棚に並び、世界のゲスト同士をつなぐ循環型プロジェクト



芝パークホテル外観

芝パークホテルについて

<https://www.shibaparkhotel.com/>

1948 年創業の芝パークホテルは、外国貿易使節団向けのホテルとして始まった歴史と伝統を持つホテルです。館内には銀座蔦屋書店がセレクトした約 1,500 冊の書籍があります。客室は 198 室、1 階に中華、洋食、和食の 3 種類のお料理を楽しめるレストラン、2 階に宴会場 4 室を備えています。2020 年から 2023 年にかけて客室やパブリックスペースをリニューアルしました。呈茶や金継ぎ体験などの文化体験イベントも開催しています。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

芝パークホテル / パークホテル東京 ブランド推進戦略課 担当:喜多尾、角田

pr@shibaparkhotel.com

TEL : 03-3433-4141 (代) FAX : 03-5470-7515